

# 「コモンズとしての食」をつくる 生産者と 消費者の 対等互惠

コロナ禍やウクライナ危機、円安などを背景にした生産費用の上昇により、食料生産の現場は厳しい状況にあります。一方、所得格差が広がるなかで食品の値上がりが続く、食べることができる人／できない人の分断も進んでいます。私たちが望む消費材をつくり続け、食べ続けるために何が大切なのか、生産者と組合員で考える場として、第45回社会経済セミナーを開催します。

利益の最大化だけを目指して動くのではなく、生産者と消費者が共的な関係を構築し、地域の自然や社会と折り合って、食は「みんなのもの＝コモンズ」になります。千葉商科大学の小口広太さんからは、「コモンズとしての食」の重要性と可能性についてお話をいただきます。また、マルモ青木味噌醤油醸造場の青木幸彦さんからは、味噌の取り組みから、鬼無里の杜の設立に至るまで、ご自身の関わりについてお話しいただきます。生活クラブ長野の千村康代さんからは、組合員と生産者の関係、消費材への思いなどについてお話をいただきます。

参加無料■オンライン配信も行ないます

下記URL、または右記二次元コードへアクセスし、送信してください。Zoom招待URLを後日お知らせいたします。

<https://x.gd/C1DAd>



●会場参加の申込みは下記、市民セクター政策機構まで

■主催：一般社団法人市民セクター政策機構

Tel: 03-5292-5051 mail: civil@cpri.jp

〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-24-20 KDX 新宿 6丁目ビル 7F

■共催：生活クラブ親生会

Tel: 03-5285-1834 mail: info@s-shinsekai.com

■協賛：生活クラブ事業連合生活協同組合連合会

●講演テーマ

「コモンズとしての食」

小口広太さん

千葉商科大学  
准教授



●講演テーマ

「味噌の取り組みから鬼無里の杜へ」

青木幸彦さん

(株)マルモ青木味噌醤油醸造場  
代表取締役社長



●講演テーマ

「生活クラブ長野組合員と生産者」

千村康代さん

生活クラブ生活協同組合・長野  
前理事長



2024/10/5 (土)

時間：14:30～17:00

会場：快・決いい会議室 ホールA

<東京メトロ副都心線/都営大江戸線  
「東新宿駅」A1出口より左へ徒歩 30秒>

